

活 用 事 例	静岡市立長田西小学校	外山幸夫教諭
活用事例タイトル	デジタル教材を活用し、古典を楽しもう！	
対象授業科目/活動	5年生 国語 古典「枕草子」	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合 教科や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>光村のデジタル教材シリーズ「わくわく古典教室」（高学年用）</p> <p>①授業の様子：別紙資料参照</p> <p>②目的：児童にとってなじみのない古典的内容との出会いを大切にするために、教科書の本文では理解できない言葉の意味を、児童なりの想像力を働かせて楽しむことができるようにする。</p> <p>③教科：国語 5年生 学級（32名） 以後、学年の他のクラスでも実施。</p> <p>④ICTの使用局面： * 本文とデジタル教材のイメージ映像を重ねて見る。 * 本文にない「続き」を想像させるためにイメージを見る。 * 「秋は？」「冬は？」と想像を膨らませ、本文をイメージと重ねて見る。</p>	
ICT活用により期待できる効果ICT活用のねらい	<p>* 本文とデジタル教材のイメージ映像を重ねて見ることで、想像を膨らませ、古典的表現を現代文に置き換えて考えることができる。</p> <p>* 大型ディスプレイを使用することで、児童が内容を共有できる。</p> <p>* 効果的な教材内容の提示ができるので、児童の興味関心を高めることができる。</p>	
評価、振り返り（活動の評判や児童、生徒の声など）	<p>* 授業が楽しくイメージを膨らませて考える事ができたという感想を持った児童が多かった。</p> <p>* 授業では本文に何度も出てくる「おかし」という言葉が、どのような意味を持つのかを考えさせたが、児童の中から「すてきなこと」「いいこと」「気持ちがいい」などの言葉が生まれた。</p> <p>* 「古典は難しい」という先入観を中学校に行ってから持たないように、この時期に位置づけられたことも考え合わせ、指導時間が短時間でも、楽しさや親しみを感じることができた。</p>	

ICT活用場面報告 (デジタル教材を使おう)

タイトル: デジタル教材を活用し、古典を楽しもう!

学年: 5 年

教科名: 国 語

単元名: 古典「枕草子」

ICTスキル: (K-T)教師の示すデジタル教材を手がかりに、学習問題の解決のヒントをつかむ。

活用したICT: プロジェクタ (大型ディスプレイ) パソコン デジタル教材

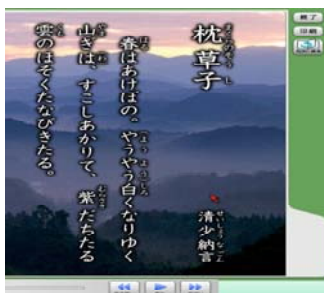
授業の様子(写真)

①



「CD-ROM」から起動する。

②



目次から教材を選ぶと音読(範読)が聞けます。イメージ画もきれい!

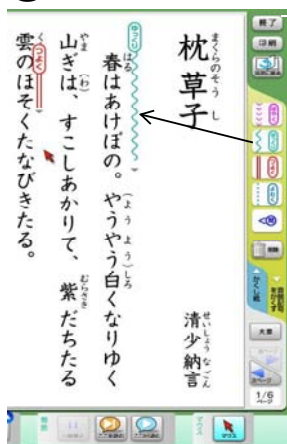
③



大型ディスプレイの前に児童を集めて、操作して見せるのが効果的。

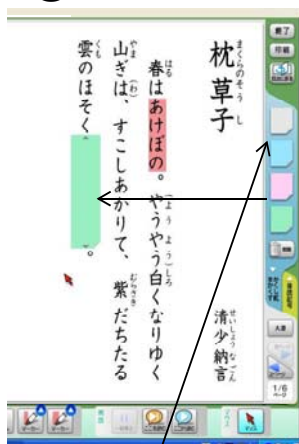
さらに さらに!

④



読み方や調子を示す印や線が引けます。

⑤



付箋やマーカーも太さや大きさを選んで引くことができます。



パソコン室に机を入れることで、グループによる話し合い活動が活発になる。磁石のついたホワイトボードを準備し、グループでまとめた意見を掲示し話し合いに生かす。

- * ただ本文を読んで解釈を想像するだけでなく、デジタル教材にある映像や資料を見たり聞いたりすることで、その内容を子どもなりに考え、イメージすることができます。
- * コンピューター指導教室のレイアウトを見直し、児童が個々にPCに向かう学習の場面と全体やグループで学習する場面の配置を工夫してみましょう。
- * デジタル教材は事前に教師がその内容を把握し、効果的に活用できる場面を選んで、児童に操作させることもできます。全てを使うのではなく、「効果的に活用」することが大切。
- * パソコン室はホワイトボードが設置していることが多いので、児童の書く活動も、A4~B4程度の大きさのボード(裏面に磁石、またはマグネットシート)を準備し、話し合いの結果等を書かせるのが良い。

実践日: 2011年 7月 8日

ICT活用場面報告

タイトル: デジタル教材を活用し、古典を楽しもう!		
学年: 5 年		
教科名: 国 語	単元名: 古典「枕草子」	
ICTスキル: (K-T)教師の示すデジタル教材を手がかりに、学習問題の解決のヒントをつかむ。		
活用したICT: プロジェクタ (大型ディスプレイ) パソコン デジタル教材		
授業の様子(写真)		
		
起動は直接CDから (PCにインストールもできます)	画像と文章でイメージ化	大型ディスプレイ 一斉学習で説明します
<p>・ただ本文を読んで解釈を想像するだけでなく、デジタル教材にある映像や資料を見たり聞いたりすることで、その内容を子どもなりに考え、イメージすることができる。「あけぼの」のイメージが写真を見ることで想像できた。</p>		
		
	本文の読み上げ	マーカーや付箋
<p>・パソコン室に机を入れることで、グループによる話し合い活動が活発になる。磁石のついたホワイトボードを準備し、グループでまとめた意見を掲示し話し合いに生かす。</p>		
<p>ポイント!</p> <ul style="list-style-type: none"> * コンピューター指導教室のレイアウトを見直し、児童が個々にPCに向かう学習の場面と全体やグループで学習する場面の配置を工夫する。 * デジタル教材は事前に教師がその内容を把握し、効果的に活用できる場面を選んで、児童に操作させる。全てを使うのではなく、「効果的に活用」することが大切。 * パソコン室はホワイトボードが設置していることが多いので、児童の書く活動も、A4～B4程度の大きさのボードを準備し、話し合いの結果等を書かせるのが良い。 		
実践日: 2011年 7月 8日		

学校名:長田西小学校

報告者名:外山幸夫